

海外体験報告 (Overseas experience report)

看護学専攻 1年 氏名 田中かのん 渡航先 タイ	
<input type="checkbox"/> 海外研修 <input type="checkbox"/> 海外留学 <input type="checkbox"/> 海外学会参加・発表 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (インターンシップ) 利用制度 (WAOJE インターンシッププログラム TGL プログラムのクラスルームから連絡があった)	
渡航期間 period 2022/8/23 ~ 2022/9/30 (39 日間)	
費用 cost (全体経費) 航空費+滞在費+海外保険+生活費= 約 25 万円 その内、財政支援 (航空費・滞在費など) 約 20 万円 (財源: WAOJE)	
渡航のための準備 Preparatory activities (事前研修プログラム、独自での語学勉強、下調べなど) 応募に際して、A4 2枚の応募理由書と2回の面接が行われた。自分がインターンで何をしたいのか、何を学ぶために海外でインターンをしたいのかということを確認する必要がある。インターン先は、3つから選ぶことができ、各会社の特徴について勉強した。また、インターンが決まってからは、東京にビザを取りに行ったり、新型コロナウイルス関係の渡航に必要な資料を準備したりした。インターン先が決まってからは、何度かオンラインでのミーティングに参加したり、オンラインイベントに参加したりと、渡航までにインターン先の企業について学んだ。日系企業へのインターンだったので、基本日本語でのやりとりではあったが、タイ語を勉強してから行けば、現地の人たちとの交流も積極的に行うことができ、さらに良い経験になったのではないだろうかと感じた。	
渡航経験からの学び What I learned from this experience? 私は、この夏休み期間タイでのインターンに参加した。もともと、将来は途上国をはじめ、医療が不足している地域で働きたいと考えていたので、自分が将来働いてみたい国を探していた。また、将来は看護職のみならず、様々な分野で必要とされる地域の支援を行っていきたくて考えていたので、ビジネスや経済の知識や経験を身につけたいと思い、このインターンに参加した。インターンでは、日本に留学するタイ人を増やすために行われている、日本博というイベントに向けての準備や当日のスタッフを担当した。また、日本語教室で日本語や日本の文化を教えたりもした。これは WAOJE という世界中の日本人起業家の組織が企画するインターンだったため、タイで活動されている起業家の方々からビジネスについてたくさんのお話を伺った。 私がこのインターンで学んだことは、いかに行動力が重要であるかということである。思い立ったら、まず行動に移してみるということは、誰にでもできることではあるが、実際に行動できる人は少ないということを感じた。この学びから、滞在中には、現地のタイ人と積極的に交流し、タイ特有の文化や歴史などについてもリアルに学ぶことができた。 タイは英語で基本的に生活できる。私は英語にあまり自信がないが、1人で交通機関を使って出かけると、いざという時には英語が話せるものだというのを、身をもって知ることができた。 今回は、新型コロナウイルスが流行してから初めての海外ということで、渡航に際しても不安があったが、事前調査を入念に行い自力で渡航することができました。日本と比べてタイは、新型コロナウイルスへの対応に柔軟さがあると感じた。新型コロナウイルスに関する点も含めて、日本は世界に遅れを取っていることを実感した。タイは現在も発展している最中で、若者の活気があるのがとても印象に残っている。日本の企業もかなり進出しており、これから目が離せない国の1つであるように感じた。タイには日本から観光・留学・仕事に行く人も多くいるので、そこで出会った人たちとの繋がりも得られる国であるように思った。	 
	写真の説明 legends of photo インターン先の社員さんとイベント会場前で撮った写真。日本とタイがよりよい関係を築いていくには、何をしなければならぬのか考える機会になった(上)。鉄道やトラックに乗って、タイらしい観光地を訪れた(下)。
おすすめポイント reason for recommendation 看護学専攻だと、看護職や看護の知識・技術は得られても、社会のことを知る機会はほとんどない。実際にタイでインターンをして、社会の動きや、経済やビジネスなどについても学ぶことができた。今後、看護職に就いても就かなくても、社会の仕組みを知っていることは重要なことである。新型コロナウイルスの影響で、海外に出にくい環境にはあるが、1回海外に出てみると日本がいかに新型コロナウイルスへの対応が遅れた国であるかが分かる。この意味でも、海外に出て、他の国の医療体制を学ぶことも興味深いことだと思う。	

